

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

（住所）西東京市南町6-9-37

（電話）042-462-2811

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



努力は報われるか

この夏は、イチロー選手のアメリカ野球殿堂入りが大きくニュースで報道されました。この野球殿堂というのはメジャーリーグで際立った成績を収めた選手や監督・コーチ、また野球界の発展に大きく寄与した人物の功績をたたえる制度で、殿堂入りを果たすことはアメリカ野球界最高の栄誉だと言われています。この野球殿堂に日本人として初めてイチロー選手が選ばれました。それも、394票のうち393票を獲得しての選出です。つまり、一人を除いては、全員がイチロー選手の殿堂入りを推薦したことになります。

このように、素晴らしい結果を残したイチロー選手ですが、二つのエピソードを紹介したいと思います。愛知の名門である愛工大名電高校の野球部に入部したイチロー選手は、1年生の秋にはもうレギュラーになっていました。ボールをバットに当てる技術が高く、バットのスイングも鋭い。走るのも速く、投球は130kmが出る。監督は、イチロー選手は普段から相当練習を積んでいるのだろうと思っていました。ところが、他の部員と同じ練習メニューを同じようにこなし、特別熱心に打ち込んでいる様子は見られませんでした。そのため、監督は、イチロー選手は天性のセンスで野球をしているのだと考えていたそうです。

そんなある日のこと、野球部員の中で「夜になるとグラウンドの片隅に幽霊が出る」という噂がひろまりました。生徒があまりに気にするので、監督はある日の深夜、恐る恐るグラウンドに行ってみると、確かに何者かがそこにいる気配がします。監督が目凝らして見ると、そこには暗がりの中で黙々と素振りに励むイチロー選手の姿があったそうです。

また、彼が小学6年生の時に書いた有名な作文があります。そこには、「僕は3年生の時から今までは、365日中、360日は、はげしい練習をしています。だから、1週間中、友達と遊べる時間は5時間～6時間の間です。そんなに練習をやっているんだから、必ずプロ野球の選手になれると思います」と書かれています。

そんなイチロー選手が「努力は報われますか」と問われて次のように答えました。

「報われるとは限らない。努力と感じている状態はまずい。その先に行けば、きっと人には努力に見える。でも本人にはそうじゃない。そんな状態が作れば、勝手に報われることがある」

つまり、自分が「努力しているな」「頑張ってるな」と思っていたら、まだまだなのかもしれません。努力をしている・していないでなく、やりたいこと・やるべきことを夢中になってやる。そうすれば、気付いたときには「報われていた」ということになるのでしょう。

3年生のみなさんは、これから進路を決定する大切な時期を迎えます。1年生や2年生の皆さんも、自分が夢中になれるものに力を注ぐ2学期にしてほしいと思います。

【保護者】SC（スクールカウンセラー）講演会（9月9日）

9月9日、本校のSCの先生を講師として招き、図書館にて保護者向けの講演会を実施しました。

「思春期の子どもの心理」をテーマとし、思春期が存在する意味や、どのように子供と接していけばよいのかなどを、さまざまな事例をもとに保護者の皆さんと一緒に考えることができました。

一方的に話をするのではなく、相手を大人扱いするように変えていく、評価ではなく自分の気持ち・事情を話すようにするといったポイントを共有することができ、たいへん有意義な会となりました。今後も、いろいろな問題を保護者同士でも共有できる場を作っていければと思います。

○保護者の方からいただいた本会のご感想○

- ・思春期について少しは分かっていたはずですが、どうしても感情的になってしまうものです。まずは大人のコミュニケーションも再度見直すきっかけになりました。
- ・子どもに対して、ひと呼吸おいて整理してから思いを伝えるように少しずつ関わっていきたいと思います。
- ・同じ気持ちであろう保護者が他にもいて、少しホッとしました。



【ご案内】スクールカウンセラーについて

- ・相談可能時間：【火曜日】 9：30～17：00
【水曜日】 8：45～17：00
- ・予約方法：副校長、担任、養護教諭などを通じて、お電話などでお申し込みください。カウンセラーの勤務日・勤務時間であれば、直通電話もご利用いただけます。空きがあれば、当日のご予約も可能です。お気軽にお問い合わせください。
- ・直通電話：042-469-2183
※直通電話は、勤務日・勤務時間以外の連絡はご遠慮ください。
- ・相談場所：1階フレンドリールーム（保健室並び）

保護者の皆様へ 公益財団法人 東京都教育支援機構（TEPRO）よりお願い

公益財団法人 東京都教育支援機構（TEPRO）では、TEPRO Supporter Bank（以下、「人材バンク」という）において、支援を求める都内公立学校や教育委員会へ外部人材（個人サポーター/企業・団体サポーター）を紹介しています。

令和6年度末現在個人登録者は約9,200名となっていますが、実際に学校でボランティア等の活動に従事しているサポーターは約1,700名であり、まだまだ学校で活動ができる方を確保することが必要です。

そこで、保護者の皆様等にも人材バンクについて知っていただくともに、人材バンクへの登録をしていただければと考えております。普段から学校の大変さを間近で見ている保護者の方だからこそ、サポーターとなり、学校の助けになることが期待されます。

貼付用バナーを用意いたしましたので、ご協力をお願いできましたら幸いです。

TEPRO Supporter Bank ティープロ・サポーターバンク

詳細
・
ご登録



学校現場であなたの力、生かしませんか？

エデュケーション・アシスタント

学習支援

特別支援
教育の支援

部活動支援

教職員の
事務支援



日本語指導
の支援

ICTの支援

など

TEPRO サポーター登録

- 登録料・紹介料無料
- 丁寧にサポートします

お気軽にお問い合わせください。

TEPRO サポーターバンク
0120-389-055（平日9時～17時）

